

平成 28 年度 関東支部運営委員会（第 1 回） 議事録

日 時：平成 28 年 6 月 9 日（木） 14：00～16：20				会 場：地盤工学会会館				
支部長	龍岡 文夫	○	副支部長	安田 吾郎	×	副支部長	田中 誠	×
副支部長 発表会 G リーダー	北誥 昌樹	×	副支部長	青木 雅路	○	顧問	石原 研而	×
顧問	太田 秀樹	○	顧問	國生 剛治	×	監事	佐藤 謙司	○
監事	石井 武司	○	幹事長	峯岸 邦夫	○	副幹事長	吉田 潔	○
副幹事長	石川 敬祐	○	山梨県 G リーダー幹事	後藤 聡	×	茨城県 G リーダー幹事	松島 亘志	×
栃木県 G リーダー幹事	西村 友良	×	群馬県 G リーダー幹事	若井 明彦	×	神奈川県 G リーダー幹事	森川 嘉之	×
千葉県 G リーダー幹事	若月 洋朗	○	埼玉県 G リーダー幹事	川本 健	×	研究委員会 G リーダー幹事	渡邊 康司	○
会員 SG リーダー幹事	鈴木 亮彦	○	会員 SG リーダー幹事	田中 剛	○	栃木県 幹事（代理）	清木 隆文	○
事務局	青木 美智子	○	前幹事長	小峯 秀雄	×	前副幹事長	橘 伸也	×

○：出席，×：欠席

0. 運営委員会の開催に先立ち、自己紹介を行った。

1. 前回議事録の確認

- ・平成 28 年度第 5 回運営委員会議事録（4/7）
- 確認の上、承認された。

【別紙－1】

2. 最近のスケジュール

- ・平成 28 年度関東支部通常総会：平成 28 年 4 月 19 日（火）
- ・第 57 回通常総会（本部）：平成 28 年 6 月 8 日（水）
- ・第 50 回地盤工学研究発表会（本部）：平成 28 年 9 月 13 日（火）～15 日（木）
- ・第 13 回地盤工学会関東支部発表会 Geo-Kanto2016：平成 28 年 10 月 21 日（金）
- 各スケジュールを確認した。
- 第 57 回通常総会には吉田副幹事長が出席し、関東支部の H27 年度活動報告を説明し、承認された。

3. 本部・他支部に関する連絡・報告・検討依頼事項

- (1) 「地盤工学会誌」支部編集委員推薦→渡邊諭氏（新任）

【別紙－2】

- 支部編集委員は渡邊諭氏が担当することが報告された。
- 学生編集委員は、東京大学濱本先生の学生を推薦することが承認された。

- (2) 第 18 回事業企画賞受賞

【別紙－3】

→会員 SG の「関東支部：地盤工学会関東支部設立 10 周年記念行事「地盤工学 PR コンテスト」」が受賞し、第 58 回通常総会にて表彰されたことが報告された。

- (3) 若手座談会への協力依頼（6/17 開催，メール連絡済）

【別紙－4】

- 本部，世代間交流座談会の開催概要が説明された。

4. 支部からの周知・連絡・検討事項

- (1) 平成 28 年度支部役員体制について

【別紙－5】

- 千葉県 G の評議委員の熱田氏(千葉県地質調査業協会)の後任者については再度確認する。
- 赤字表記の役員は、支部総会後に変更した役員であることが説明された。

(2) 平成 28 年度関東支部総会議事録

【別紙-6】

- 議事の内容が報告された。
- 龍岡支部長より、支部の赤字を無くすために引き続き努力していくことを運営委員会の共通認識とすることが確認された。

(3) 関東支部ホームページ

【別紙-7】

- 企画総務 G にて支部 HP の最終チェックを実施したことが報告された。
- 改善意見として、クリックするとメインページに戻る機能を追加して欲しい。
- 運営委員会内でも新 HP を確認し、問題点があればメールにて事務局へ連絡することが依頼された。
- GeoKanto の HP は、発表会 G にて最終チェック済みであることが報告された。
- 新 HP の納品・完了検査については、幹事長または副幹事長が検査を行うことが確認された(6月末予定)。

(4) 寄附金／外部資金等の内規の検討

【別紙-8】

- 寄附金に関する他支部の特定の内規は作成されておらず、この内規が初めてとなる。
- 寄附金、助成金、受託研究費、公募型受託研究費には、直接費の10%を管理費として確保し、支部費用として使用することが承認された。
- 支部への寄附金には、対象外とすることが確認された。
- 現在進行中の研究委員会も対象とし、研究委員会 G (渡邊様) より、各研究委員会へ承諾を得ることが確認された。
- 内規案の文章を修正し、メール審議を行うことが確認された。

(5) 応用地質(株)からの依頼：新・関東の地盤 2014 年版転載許諾願い

【別紙-9】

- 内容が確認された。

(6) 港区青南小学校からの依頼：出前講座(平成 28 年 4 月 15 日)

【別紙-10】

- 4月15日以降連絡がないために、静観することが確認された。

(7) 平成 28 年度予算執行状況(5月末現在)

【別紙-11】

- 内容が確認された。

5. メール審議決定事項

(1) 群馬県 G 主催：「八ッ場ダム現場見学会」の開催

- メール審議にて承認されたことが報告された。

6. 開催結果、進捗状況の報告(前回運営委員会以降、開催分を記載)

(1) 支部総会・特別講演会「選手村等施設整備を中心とした東京 2020 大会の準備状況に

ついて」、4/21

参加者：80名【開催済】

- －>平成28年度第1回評議委員会は、11月1日（火）とすることが決定された。
- －>龍岡支部長より、特別講演者はJR東日本に打診することが提案され、承認された。
- －>評議委員会の開催に先立ち、10月上旬に運営委員会を開催する。
- －>日程調整は、後日、伝助等で行う。
- －>各グループは、上期の報告と下期の予定の作成を依頼することを確認した。

(2)「会員サービスグループ「若手技術者交流会」テーマ：「地盤改良に関する調査・施工・開発・研究」、6/30

(3)群馬県グループ「八ッ場ダム現場見学会」7/4（5/20定員に達したため募集締切）
－>確認された。

7. グループ別の実施計画・進捗状況・その他報告事項

(1) 会員サービス G

【別紙一】

- －>「若手技術者交流会」は、現時点で参加者が10名程度、50名程度の参加者を目指している。
- －>支部交流会（都内を歩く企画）、第11回ソイルストラクチャーコンテストの日程予定や検討状況の報告がなされた。

(2) 茨城県 G

【別紙一】

(3) 栃木県 G

【別紙一】

(4) 群馬県 G

【別紙一】

(5) 山梨県 G

【別紙一】

(6) 千葉県 G

【別紙一】

(7) 埼玉県 G

【別紙一】

(8) 神奈川県 G

【別紙一】

- －>各県 G の活動計画および状況が報告された。

(9) 研究委員会 G

【別紙一】

- －>新規研究委員会は、2件の応募があり、検討委員会1件と研究委員会1件として設立することが報告された。
検討：UAVの地盤防災・減災への利活用とその政策への反映に関する研究委員会
研究：歴史遺産の地盤工学研究に関する研究委員会

(10) 支部発表会実行委員会

【別紙一】

- －>GeoKanto2016の準備状況、今後のスケジュール、予算案が報告された。
- －>学生企画に関しては、太田顧問より、学生企画を行う際には学生を動かす先生の協力が必要不可欠であることが指摘なされ、峯岸幹事長より小峯前幹事長へ協力の依頼をすることが決まった。

(11) 企画総務 G

【別紙一】

- ニューズレターNo.38の巻頭言は、峯岸幹事長が対応することが報告された。
- ニューズレターNo.39の巻頭言は、佐藤監事に依頼し、受諾された。

8. その他

(1) 退会・等級変更届

・株式会社ミカミ（4級）：退会理由 学会を利用する事がないため

【別紙一】

- 報告された。

(2) 次回運営委員会開催日程

平成28年**月**日（前年度は、平成27年9月10日に開催）

- 第2回運営委員会，10月上旬の開催予定，伝助にて日程調整を行うことを確認した。

- 第1回評議委員会，11月1日（火）午後，開催日を決定した。

9. GeoKanto2017 に関して

- 開催日は，2017年11月を予定している。

- 栃木県Gから以下の要望があげられた。

[要望1] 現実行委員会の各部会で，次年度も部会長を務めて頂ける方を予定して，今年度の準備を進めて頂きたい。

[要望2] 各部会の企画など，メール審議で決定されると伺っているが，その議論の内容を栃木県Gの方にも流して頂きたい。

- 事務局で対応が可能であり，メールを転送することが確認された。

- 龍岡支部長より，上記の要望に対応するため，支部長，幹事長，発表会Gリーダー，栃木県G担当者で引き継ぎに関する協議を7月後半までに実施することが提案された。事務局より各役員の日程調整を伝助で行うことを確認した。

- 今後の検討事項として、引継ぎを効率的に行うために，次年度に向けた組織の継続性や各対応業務の役割を明確にする必要があることが提案された。

- 栃木県Gには，次年度の実行委員長を早急に決めて頂くことも、効率的な引継ぎ事項ではないかとの意見が出された。

以上
文責 石川